

中部大学通信



SINCE 1967

No. 233

May 2025

# ウプト

w p w t



ウプトとは、古代エジプトのヒエログリフ（象形文字の一種）で、「伝達する人」の意味。エジプト古王国の碑文などに見られ、19世紀初めにフランスのシャンポリオンが解読している。



特集

4月1日に行われた入学式

## 新学長就任インタビュー 副学長から学生へのメッセージ

# 新学長就任インタビュー

4月、新学長に前島正義前副学長が就任しました。

竹内芳美学長の任期満了に伴う人事で

本学はこれで三浦幸平初代学長から数えて7代目の学長となりました。



まえしま まさよし  
前島 正義

1954(昭和29)年静岡県浜松市生まれ。1976(昭和51)年名古屋大学農学部農芸化学科卒業。1981(昭和56)年名古屋大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士課程修了。農学博士(名古屋大学)。専門は生化学、分子細胞生物学、植物生理学。名古屋大学農学部助手、北海道大学低温科学研究所助手、北海道大学低温科学研究所助教授、名古屋大学農学部助教授、岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所客員助教授(兼務)、名古屋大学大学院生命農学研究科教授、名古屋大学副総長を経て、2019(平成31)年から中部大学応用生物学部教授。2023(令和5)年から中部大学副学長。

学長に就任されて、現在の心境と今後の抱負をお聞かせください。

中部大学は、学部生が約1万1千人、大学院生や教職員を含めると、約1万3千人規模の大学です。このような大規模な大学の学長に就任することは、非常に大きな責任を感じますが、大学の維持や発展を担う立場として、学生一人一人が充実した学びを得られるよう、そして教職員が共に成長できる環境を作ることが、私のこれからの仕事だと強く感じています。

中部大学の今後の教育・研究についてお聞かせください。

中部大学に入学する学生は、それぞれ異なるバックグラウンドや知識を持っており、学部の授業に苦しむ学生も少なくありません。私たち教員は、学生が大学での学びを修めて卒業できるよう全力でサポートします。しかし、大学教育は義務教育と異なり、学生自身の意欲も重要です。授業で全てを伝えるのは難しい

ですが、学生に「新しい学問に触れた」と感じさせ、「もっと学びたい」と思わせるきっかけを作ることが私たちの役割です。

また、本学には新しい研究領域を開拓する素晴らしい教員が多くいます。私はそのような先生方を支援し、学部内での共同研究を促進する仕組みを作りたいと考えています。教員同士が協力し合う姿を学生に見せることで、教育と研究の両面が共に発展することを期待しています。

学生に対して、卒業後にどのように成長してほしいと思いますか？

就職や進学が決まった時点で「これで終わり」ではなく、その後の成長を意識してほしいと思います。卒業が見えてきたときに立ち止まってしまう学生もいるかもしれませんが、会社に入まるだけでなく、自分の足跡を残せるような仕事をしてほしいです。先日、ネジを作る会社の社長と専務が中部大学の人文学部出身だと知り、驚きました。大学で学ん



## CONTENTS

特集 P01

### 新学長就任インタビュー 副学長から学生へのメッセージ

ようこそわが研究室へ P04

### 生理学的指標を用いたストレス状態の 客観的評価・定量評価 平手 裕市研究室

桃園四季 P05

### 考えることは楽しい！ 野球が教える探求の魅力 宮下 浩二教授

TOPIC P07

### 2024年度進路状況

Close Up P09

### 中部大学発 居眠り検知技術の進化 平田 豊教授

Free Talk P11

### 人生を変えるその一歩から 秋葉 楓汰さん

### 私の強みは、アイデアの原点を創ること 村瀬 歩見さん

わがクラブ P13

### 歴史あるクラブで<sup>部員</sup>楯円球を追い、 勝利を目指す ラグビー部

私の学生時代 P14

### “ワタシ”を“私”に育ててくれた中部大学 山本 雅也准教授

CAMPUS NEWS P15

### 2025年度入学式 etc.

Random Shot P21

### 業務の正確さと協力を大切に 永村 光一さん

活躍するOG P22

### 命を守り、伝える仕事 青山 三菜さん

プライベート  
Private

## Q. 休日はどのように過ごされていますか？

土曜日は仕事帰りに買い物をし、私が買った食材が翌週の献立を決めることもあります。日曜日は、息子や妻の本を選びに名古屋へ行き、図書館で本を借りることが多いです。

## Q. ご家族は？

妻と3人の子供がいます。現在は、妻と義母の3人で生活を共にしています。

## Q. 学生時代はどんな部活動に所属していましたか？

中学ではブラスバンド部に所属し、コルネットを演奏していました。高校でもブラスバンド部に入りましたが、トランペットを演奏できる先輩がいたこともあり、楽器をホルンに変えました。  
大学では体を鍛えようと陸上部に入部しましたが、その後、男声合唱団に転部し、大学生活を過ごしました。

Interviewer

ウプト学生編集委員

伊藤 帆乃佳 日本語日本文化学科4年 神戸 朋瑛 AIロボティクス学科2年



左から伊藤さん、前島学長、神戸さん

### 取材を終えて

**伊藤** 貴重な体験をさせていただきました。残り少ない学生生活ですが、興味があることもそうでないことも、たくさん学び、糧にしていきたいです。

**神戸** 取材はとても緊張しましたが、学長から直接お話を聞けて良かったです。これからもさまざまなことに挑戦していきたいです。

### 最後に学生へ メッセージをお願いします。

大学の4年間は、社会に出てから役立つ知識を学ぶだけでなく、学問を通じて世界をどう捉えるかを学ぶ大切な時間です。日本の教育は偏差値を重視しがちですが、勉強ができることがすなわち立派な人間とは限りません。人それぞれ性格や得意なことが異なり、学力だけでは測

だことだけがすべてではなく、その先に広がる挑戦が人生を大きく変えることを実感しました。自分の好きなことを追求し、期待に応えようと頑張り続けることが、未来を切り拓く一歩となると考えています。

れない多様な力があることを理解してほしいと思います。限界を自分で決めず、さまざまな面で成長し続けてほしいです。  
大学4年間は精神的に不安定な時期でもあります。自分に自信が持てなかったり、悩んだりすることがあるかもしれませんが、そんなときは、遠慮せずに周りの人に相談することが大切です。自分一人で抱え込まず、信頼できる人に頼ることで、気持ち軽くなり、前向きな考え方を身につけることができます。  
また、授業中に「質問はありますか？」と尋ねられたら、積極的に質問をしてみてください。質問を通じて、授業をより充実させることができます。

# 副学長から学生へのメッセージ

4月、副学長に3人の先生方が就任しました。

就任された副学長から学生へ、メッセージをいただきました。

副学長

総務・人事・学部改革担当



現代教育学部 教授

花井 忠征

新年度を迎え、キャンパスが学生の皆さんの笑顔と活気に満ちあふれていることを心よりうれしく思います。

新入生の皆さん、入学から2カ月が経ちましたが、大学生活には慣れましたでしょうか。大学の4年間は、多くの学びや挑戦に満ちた貴重な時間です。自分の可能性を信じ、勇気を持って目標に向かって進んでください。2年生以上の皆さんは、これまでの経験を糧にさらに成長し、充実した学生生活を送ってください。大学生活は自己発見の大切な時間であり、場でもあります。仲間と共に切磋琢磨しながら進んでいきましょう。

中部大学の建学の精神「不言実行 あてになる人間」は、行動で信頼を築き、責任を果たす姿勢を重んじています。この精神は、皆さんが困難に直面したときに、目標に向かって進む力となることでしょう。

私たち教職員一同は、皆さんの努力と挑戦を全力で応援します。4年間で皆さんにとって実りある時間となり、輝かしい未来への礎となることを心より願っています。

副学長

教育・学生・国際・地域連携担当



人文学部 教授

柳谷 啓子

若い皆さんは、強い志さえあれば、たいいていのことは成し遂げられます。大学は、単に知識を授ける場ではなく、皆さんの「志」を育む場所です。

少子化が進む中、大学は今、生き残りを懸けて激動の時代にあります。大学の価値を測る尺度には、教育・研究の環境、教育の質、国際性、企業との関わりなど、さまざまな要素があります。これらを向上させるために、学園は今、一丸となって努力しています。しかし、特に私立大学に関していえば、大学のブランド力を高める上で最も大切なのは、卒業生が社会で活躍し、その力を示してくれることです。社会の第一線で素晴らしい活躍を遂げる卒業生をいかに多く輩出し、社会に貢献できるかによって、大学の真価が問われると私は考えています。

本学の未来は、皆さん一人一人の肩にかかっているといっても過言ではありません。ぜひ、大きく強い志を掲げ、自分自身と大学の価値を高めてください。皆さんならきっとできます。

副学長

学術研究・内部質保証担当



工学部 教授

幅上 茂樹

今は「人生100年時代」といわれます。この4月には、高齢者雇用安定法の改正により、企業には65歳までの雇用機会を与えることが義務付けられました。遠い先の話のように感じられるかもしれませんが、皆さんがこの年齢になるころには、70歳、さらにはそれを超えて働く時代が来ることは容易に想像できるでしょう。

大学を卒業して50年働く時代に、皆さんは生きていくのです。大学での4年間は、これに比べればはるかに短く、ほんの一瞬ですが、この4年間に境に、皆さんは社会人としての第一歩を踏み出します。4年間はそのための準備期間であり、一生に関わる大切な時間です。大学院に進学してさらに学び、自らを成長させる道を選ぶのもよいでしょう。

人生100年時代の今こそ、大学・大学院での学びの重要性はかつてなく高まっています。これからの50年をどう生きるのか、輝いて生きるために今何をすべきなのかを考え、充実した学生生活を送ってほしいと願っています。



ようこそ

# わが研究室へ

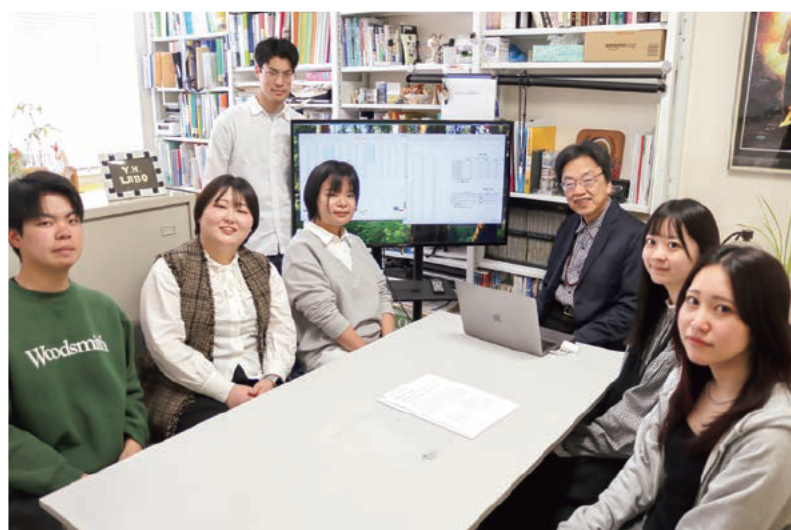
vol.186

臨床工学科  
平手 裕市 研究室

## 生理学的指標を用いた ストレス状態の 客観的評価・定量評価

「人の生体反応(ストレス状態)を定量評価する」ことを目的に研究を進めています。人は外部的・内部的な刺激に対して自律神経系や内分泌系が働き、恒常性を維持するためにさまざまな生体反応を示します。これらの反応は複数の要因が絡み合っており、生体状態を正確に評価するには、それらの要因を解明することが不可欠です。私たちの研究では、生体情報モニターの指標を用いて自律神経活動や呼吸循環動態を非侵襲的に測定・解析し、ストレス状態を連続的かつ多角的に定量評価する方法を確立することを目指しています。

本研究室は3研究室合同で毎週活動しており、それぞれの研究の進捗状況を報告し合いながら活発な議論を行っています。合同研究室のため、私たちの研究だけでなく多岐にわたるテーマでの研究が行われており、幅広い視点からフィードバックを得ることが出来ます。また、ゼミ活動以外にも学部3、4年生や院生が合同で食事会やゼミ合宿を行い、学年間の垣根を越えて積極的に交流できる環境が整っています。研究室メンバー同士で積極的に意見交換を行い、充実した研究生生活を送っています。



ゼミ生レポート



生命健康科学研究科  
生命医科学専攻博士前期課程2年

毛利 空広

ゼミ生に  
ひとこと



生命健康科学部 臨床工学科  
ひらて ゆういち  
平手 裕市 教授

いつもありがとうございます一言に尽きます。研究室では、先輩が後輩の指導を、後輩が先輩の研究補助を積極的に行ってくれます。歓迎会、ゼミ合宿、追い出し会の年中行事も自主的に運営してくれます。私は楽しく見ているだけですが、ゼミ生はよく勉強し、昨年度1年間の全国学会報告等21件、博士論文1編、修士論文2編、学士論文4編を含む論文等13編と立派でした。研究室の隣にある院生室からは、笑い声が絶えません。

先生はこんな人

学生一人一人の研究に<sup>しんしん</sup>真摯に向き合い、的確なアドバイスをくださいます。学生との意見交換を重視し、活発な議論ができる環境を整えてくださり、研究の方向性についても親身に相談に乗っていただき、学生の自主性を尊重しながら成長を後押しして下さいます。研究以外でも交流の機会を大切にし、研究室全体が協力し合い学びを深められる雰囲気を作ってください。



# 考えることは楽しい！ 野球が教える探求の魅力

理学療法学科 宮下 浩二 教授

「日本野球学会」。この学会は、私も理事を務める学問の場です。野球に関する研究を、自然科学・社会科学・人文科学の多角的な視点から発表し、議論する場です。大学教員をはじめ、高校教員やプロ野球の指導者、選手も参加しています。千葉ロッテマリーンズの吉井理人監督も本学会の理事です。

学会では、日常で抱える多様な疑問について情報交換を行い、解決のヒントを探しています。その熱意に触れるたび、学問の魅力を再確認しています。昨年12月には学術大会が開催され、NHKの「ニュースウオッチ9」で紹介されました。高校生の部では、高校生による野球に関する探求学習の発表があり、愛知県の誉高校野球部の女子マネージャーが発表した「ダブルプレーを効果的に取るための研究」が優秀賞を受賞しました。これは日常の練習で感じた疑問を探求した成果です。

また、私の研究室に在籍する大学院生も大会で発表しました。彼は高校野球で抱いた疑問を2年間かけて探求し、成果としてまとめ



日本野球学会第2回大会の様子



ました。学問の楽しさを実感する機会となった  
ようです。日々の疑問を大切にし、探求する姿  
勢は高校生・大学生、そしてプロの選手や指導  
者にとっても重要だと改めて感じました。

私は現在、本学硬式野球部の部長を務めるとともに、理学療法学科の教員として選手たちのケガの予防やコンディショニングに関わっています。選手たちは自分の課題と真剣に向き合い、努力を重ねています。最近では、SNSを通じて膨大な情報を得て、課題解決のヒントを見つけ、実践しています。この姿勢には日本野球学会で見られる探求学習の精神を感じます。

大切なのは、単に「答え」を待つのではなく、目の前の課題に問題意識を持って向き合い、探求することです。能動的に考え、試行錯誤を繰り返すことで、自分の課題や不足している点が見えてきます。そうすることで「あふれるほどの情報」が問題解決のための「ヒント」として見えてくるのだと思います。選手の身体や環境は常に変化しているため、「一つの答え」だけでは対応できません。「ヒント」をもとに、その時その場で最適解を見つける能力が求められます。選手たちと接することで、私自身も新たな学びや問題解決のヒントを得ています。



硬式野球部員のコンディショニングを行う宮下教授



部長を務める硬式野球部の試合の様子



## 宮下 浩二

みやした こうじ

名古屋大学大学院医学系研究科修了(博士)。理学療法士、アスレティックトレーナーとして選手のサポートを行ってきた。何事も現場での実践から得られる経験が重要と考えている。



シンポジウムで発表する宮下教授(写真右端)



# 2024年度進路状況

求人社数

## 22,132 社

就職率

## 99.8 %

就職者数 ÷ 就職希望者数

実就職率

## 96.4 %

就職者数 ÷ (卒業者数 - 国内大学院進学者数)

### 2024年度卒業生の 教員・保育士採用者数

|        |              |                     |
|--------|--------------|---------------------|
| 高等学校   | 専任教諭<br>2人   | 講師<br>8人            |
| 中学校    | 専任教諭<br>7人   | 講師<br>16人           |
| 小学校    | 専任教諭<br>21人  | 講師<br>10人           |
| 特別支援学校 | 専任教諭<br>1人   | 講師<br>1人            |
| 幼稚園    | 正規教諭<br>4人   | うち<br>公務員<br>1人     |
| 保育園    | 正規保育職<br>58人 | うち<br>公務員保育職<br>44人 |
| 認定こども園 | 保育教諭<br>5人   |                     |

※講師には非常勤講師を含む。

### 2024年度卒業生の 国家試験受験状況

| 生命健康科学部 |          |          |                            |
|---------|----------|----------|----------------------------|
| 看護師     | 受験者 101人 | 合格者 101人 | 合格率 100%<br>(全国合格率 95.9%)  |
| 保健師     | 受験者 11人  | 合格者 11人  | 合格率 100%<br>(全国合格率 96.4%)  |
| 臨床検査技師  | 受験者 31人  | 合格者 31人  | 合格率 100%<br>(全国合格率 94.0%)  |
| 理学療法士   | 受験者 40人  | 合格者 40人  | 合格率 100%<br>(全国合格率 95.2%)  |
| 作業療法士   | 受験者 40人  | 合格者 38人  | 合格率 95.0%<br>(全国合格率 92.5%) |
| 臨床工学技士  | 受験者 38人  | 合格者 34人  | 合格率 89.5%<br>(全国合格率 78.9%) |
| 救急救命士   | 受験者 42人  | 合格者 41人  | 合格率 97.6%<br>(全国合格率 96.7%) |
| 応用生物学部  |          |          |                            |
| 管理栄養士   | 受験者 36人  | 合格者 34人  | 合格率 94.4%<br>(全国合格率 80.1%) |

※臨床工学技士の全国合格率は新卒者・既卒者全体の合格率。その他はすべて新卒者の合格率。

## 2024年度の進路状況について

真面目で誠実。企業の人事担当の皆さまをはじめ、学外の方々からよくいただく中部大生へのお褒めの言葉です。企業の採用意欲が旺盛な状況が続く就職環境においても、ときに壁にぶつかることもあったと思いますが、目標に向かって常に誠実に、ひたむきに前進し続けた皆さんの努力の積み重ねが実を結び、2024年度の実就職率は9年連続で99%を超える結果となりました。それは学生の皆さんの努力、企業の皆さま、ご家族の皆さまのご支援や教職員のサポートなど、さまざまな力の融合が成し得た結果でもあります。新たなスタート地点に立った卒業生の皆さんにエールを送るとともに、ご支援いただいたすべての皆さまに、この場をお借りして心より御礼申し上げます。



### 学生の皆さん

キャリア支援課では、経験豊富な職員が学生の皆さん一人一人に向き合い、全力で進路実現のサポートをしています。就職相談や履歴書添削、面接練習はもちろん、将来の進路について考えたい時や就職活動がうまくいかず悩んでいる時など、皆さんの就職活動をあらゆる方面から応援します。1～3年生の皆さんも気軽に利用してください。





## 2024年度卒業生・修了生の主な進路

### 建設業

(株)一条工務店、NDS(株)、(株)大林組、鹿島建設(株)、(株)きんでん、五洋建設(株)、清水建設(株)、鈴与建設(株)、住友林業(株)、積水ハウス(株)、ダイダン(株)、高砂熱学工業(株)、東亜建設工業(株)、(株)トーエネック、戸田建設(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)、西松建設(株)、(株)フジタ、名工建設(株)、矢作建設工業(株)

### 製造業

〈鉄鋼業・非鉄金属・金属製品〉(株)青山製作所、住友電気工業(株)、大同特殊鋼(株)、中央可鍛工業(株)、(株)東郷製作所、豊田スチールセンター(株)、古河AS(株)、(株)メイドー、リンナイ(株)

〈化学・医薬・食品〉天野エンザイム(株)、岩谷瓦斯(株)、(株)AFC-HDアムスライフサイエンス、カネ美食品(株)、桂新堂(株)、(株)コーセー、三生医薬(株)、敷島製パン(株)、東亜合成(株)、東海漬物(株)、名古屋製酪(株)、日本メナード化粧品(株)、フジパングループ本社(株)、山崎製パン(株)

〈産業機械〉(株)アマダ、NECプラットフォームズ(株)、NTN(株)、エンシュウ(株)、オークマ(株)、CKD(株)、(株)ジェイテクト、新東工業(株)、大豊工業(株)、フジテック(株)、ヤマザキマザック(株)

〈電気・電子・情報通信機器〉アイホン(株)、アライドテレシスホールディングス(株)、イビデン(株)、NTTイノベティブデバイス(株)、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)、シンフォニアテクノロジー(株)、スタンレー電気(株)、住友電装(株)、(株)デンソー、日本航空電子工業(株)、浜名湖電装(株)、(株)日立情報通信エンジニアリング、富士電機(株)、(株)三井ハイテック

〈輸送機器関連〉アイコクアルファ(株)、(株)アイシン、アイシン高丘(株)、(株)アドヴィックス、スズキ(株)、ダイハツ工業(株)、太平洋工業(株)、(株)東海理化電機製作所、豊田合成(株)、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機、豊田鉄工(株)、トヨタ紡織(株)、林テレンプ(株)、フタバ産業(株)、本田技研工業(株)、三菱自動車工業(株)

〈精密・工学・レンズ・医療〉愛知時計電機(株)、テルモ(株)、(株)ニデック、フクダ電子(株)  
〈その他〉東京窯業(株)、(株)メニコン・ヤマハ(株)

### 商業

〈(商社)〉国分中部(株)、(株)スズケン、日本ロレアル(株)、萩原電気ホールディングス(株)、三菱電機住環境システムズ(株)、矢崎総業(株)、UHA味覚糖(株)

〈(流通)〉イオンモール(株)、(株)ATグループ、コストコホールセールジャパン(株)、(株)ニトリ、日本調剤(株)、(株)ロック・フィールド

### 金融業

〈(銀行)〉(株)愛知銀行、(株)百五銀行、(株)北陸銀行

〈(信金)〉岡崎信用金庫、岐阜信用金庫

〈(保険)〉第一生命保険(株)、日本生命保険(株)

〈(証券)〉東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)

### サービス業

〈(情報通信)〉Sky(株)、(株)中電シーティーアイ、デンソーテクノ(株)、(株)東海理化アドバンスト、(株)東名、(株)ドコモCS、(株)豊通シスコム、(株)日立システムズ、(株)日立ソリューションズ、富士ソフト(株)、三菱電機ソフトウェア(株)

〈(宿泊業)〉(株)ジェイアール東海ホテルズ、(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド、リゾートトラスト(株)

〈(旅行代理店)〉東武トップツアーズ(株)、(株)日本旅行、名鉄観光サービス(株)

〈(スポーツ施設)〉(株)ナゴヤドーム

〈(その他サービス)〉(株)IHI検査計測、小牧商工会議所、(株)島津アクセス、セコム(株)、中部国際空港旅客サービス(株)、羽田空港サービスグループ、(株)日立ビルシステム、三菱電機システムサービス(株)

〈(協同組合・郵便局)〉JAあいち知多、JAとびあ浜松、JAなごや、JA西三河、JAみえぎた、JA山口県、日本郵便(株)

### 医療

〈(病院)〉愛知医科大学病院、愛知県がんセンター、大垣市民病院、大阪大学医学部附属病院、岡崎市民病院、春日井市民病院、医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院、北里大学病院、岐阜県立多治見病院、京都大学医学部附属病院、公立陶生病院組合、国立循環器病研究センター、国立長寿医療研究センター、小牧市民病院、静岡県立総合病院、岐阜大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、ト

ヨタ記念病院、名古屋市立大学病院、名古屋掖済会病院、日本赤十字社(愛知医療センター名古屋第一病院、愛知医療センター名古屋第二病院、伊勢赤十字病院)、浜松医科大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、松阪市民病院

〈(その他)〉一般社団法人京都微生物研究所

### 教育

公立高校教員(愛知県、岐阜県、三重県)、公立中学校教員(愛知県、三重県、静岡県)、公立小学校教員(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、滋賀県、大阪府、長崎県、名古屋市)、公立保育園(一宮市、岡崎市、春日井市、小牧市、豊田市、名古屋市、恵那市、多治見市、中津川市、瑞穂市、桑名市、津市、四日市市、駒ヶ根市)

### 公務員

〈(国家)〉防衛省航空自衛隊、法務省、東京国税局

〈(地方自治体)〉愛知県、滋賀県、一宮市、犬山市、大府市、岡崎市、春日井市、豊橋市、名古屋市、日進市、各務原市、桑名市、岡山市

〈(警察)〉愛知県、岐阜県

〈(消防)〉一宮市、岡崎市、名古屋市、岐阜市、津市、浜松市、横浜市

### その他

〈(通信業)〉(株)CCJ、CCNet(株)

〈(電力・ガス・水道)〉関西電力(株)、電源開発(株)、東邦ガス(株)、北陸電力(株)

〈(不動産取引)〉住友不動産販売(株)、東急リパブル(株)

〈(輸送)〉伊勢湾海運(株)、伊藤忠ロジスティクス(株)、(株)ANA Cargo、近畿日本鉄道(株)、西濃運輸(株)、東海旅客鉄道(株)、富山地方鉄道(株)、中日本高速道路(株)、名古屋鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、日本航空(株)、日本通運(株)、三菱倉庫(株)

### 進学/大学院

愛知教育大学大学院、岡山大学大学院、岐阜大学大学院、信州大学大学院、中部大学大学院、東京医科大学大学院、名古屋工業大学大学院、名古屋市立大学大学院、名古屋大学大学院、鳴門教育大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、立命館大学大学院

(順不同)



理工学部 AIロボティクス学科 平田 豊教授

## 中部大学発 居眠り検知技術の進化



第7回キャンパスベンチャーグランプリ中部表彰式での記念写真

私が中部大学に着任した2000年頃、居眠り運転による自動車事故が社会問題となっていました。自動車関連企業はその対策として「目」に注目していて、眼球運動研究者の私のところにも、共同研究のお誘いがありました。以来、研究室の学生たちが15社以上の企業の研究者と協力して、居眠り防止技術に繋がるたくさんの面白い発見をしました。

その一つが、「前庭動眼反射(VOR)」が眠気自覚前から鈍る」というものです。VORは、頭が揺れた時に眼を逆方向に反射的に回転させ、見ているものがブレないようにする、「頭ブレ防止」のための眼球運動です。

私は中部大学に着任する前、猿のVOR研究をしていました。そのとき、猿が眠くなるとVORが鈍る(頭の揺れに対して目が動かなくなる)ことに気づきました。そこで、西山潤平くん(博士後期課程修了)と木下伸一くん(博士前期課程修了)が、まずこの現象を人で確かめました。

このとき実験参加者の眠気の強さも同時に評価したところ、驚きの結果が得られました。VORが鈍くなり始めるのは、本人が眠気を自覚する前からだったのです。

岩月靖典くん(本学卒業後名古屋工業大学大学院に進学)はこの発見に触発され、iPhoneで使える眠気予兆検知アプリを開発しました。これにより一気にこの技術の実用化への道が開かれ、TV(7番組)、新聞(2社)、ラジオ(2番組)、雑誌(1誌)で広く紹介されました。

加島崇史くん、鹿島智徳くん、牧孝郎くん(いずれも博士前期課程修了)は、この技術を応用したビジネスプランを立て、キャンパスベンチャーグランプリ中部に応募しました。結果は見事グランプリ。続く全国大会でも3位に入

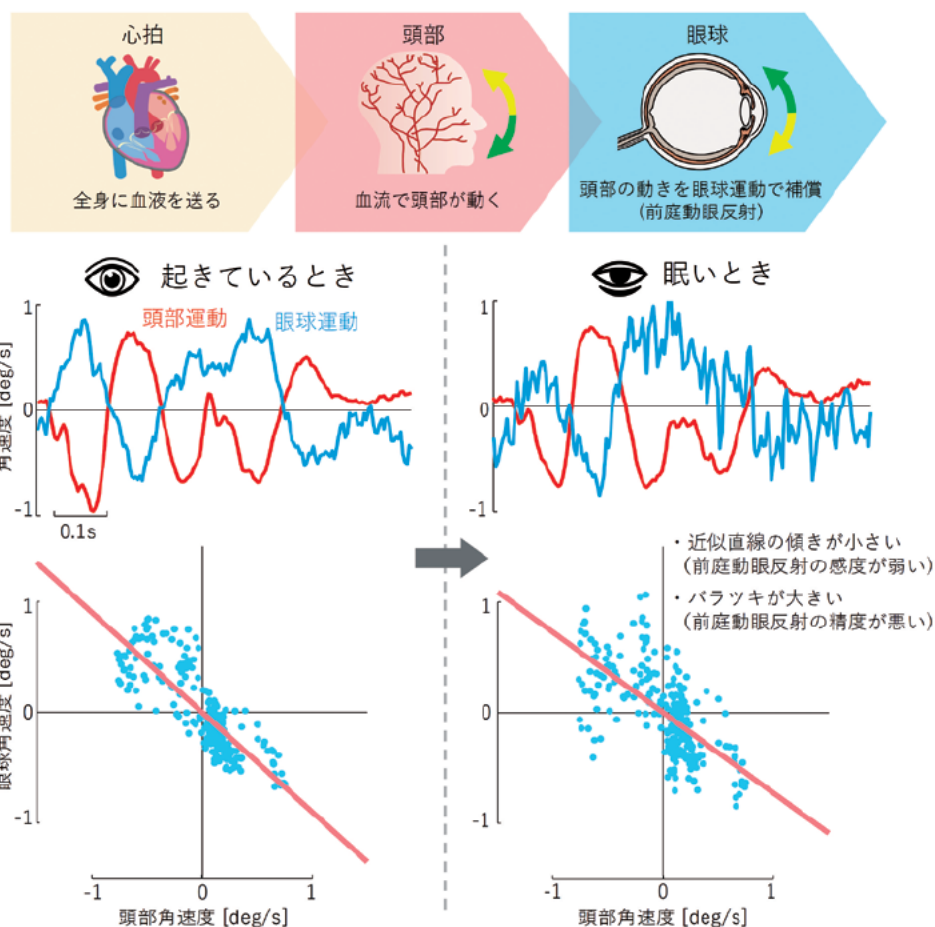




平田 豊教授

高等専門学校で電気工学、大学で電気電子工学、大学院で情報工学を学ぶ。博士研究員として宇宙生物学(JAXA)、神経生理学(ワシントン大学医学部)に従事。現在は中部大学で、運動が上達し、それを記憶し続ける脳の仕組みを工学的な技術・手法を用いて動物実験を通じて研究。また、その知見をロボット制御に応用する研究も行っている。春日井市在住。二児の父。長男は中部大学現代教育学部卒業。家族や研究仲間、研究室の学生・院生とともにクラブビール(特にIPA)を飲みながら語り合う時間を大切にしている。

## ■居眠り防止技術について



賞し、多額の賞金を獲得しました。

私もこのテーマで、「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」に採択され、愛知県から研究費をたくさんいただき「Androidアプリと連携させたメガネ型VOR評価システムを実用化しました(Primo GlassとしてNAC社から販売中)。関連特許も6カ国で取得しています。

このように大成功を取めたかに思えるこの技術には、実は、大きな制約がありました。それは、「VORは頭が動かないと誘発されない」というものです。静止しているオフィスや教室ではVORは誘発されず、「評価は無理じゃね？」と指摘されていたのです。

そんな中、最近別の実験をしていた山中都史美さん(博士後期課程在学中)が、人の頭は、安静に座っていても心臓が拍動する度に小さく揺れていることを見つけました。詳細なデータ解析の結果、この心拍による頭の揺れに対しても微小ながらVORが誘発され、このVORも眠気とともに鈍ることが実証されました。

山中さんはこの発見をメジャーな国際科学雑誌で発表し、博士号取得に王手をかけました。この成果は日本経済新聞、中日新聞で大々的に取り上げられ、ネット上でも話題となったので、目にした人もいるかと思います。

こうして中部大学発の居眠り検知技術は、乗り物運転の中のみならず、オフィスワークや遠隔会議、授業中などあらゆる場面において応用できるようになりました。この技術の詳細に興味のある方は、ぜひ、西山くんと山中さんの力作論文(西山、木下、平田、生体医学学会論文誌、2010;Yamanaka & Hirata, Scientific Reports, 2024)を参照ください。



Free Talk  
私にも書かせて

# 人生を変える その一歩から



英語英米文化学科3年

秋葉 楓汰



試合の様子

私は2年次の秋学期の約4か月間を、中部大学協定校であるアメリカのオハイオ大学で過ごしました。私が所属している英語英米文化学科には、単位互換が可能な海外研修プログラムがあり、私も参加しました。2年次の春学期には、8月後半の出發に向けた留学準備クラスがあり、アメリカの文化や祝日、マナーについて学び、十分に準備して渡米しました。

しかし、いざアメリカに到着すると、思いがけないことがたくさんありました。例えば、ショッピンモールでお菓子を食べながら接客するスタッフがいたり、私たちはコートを着ても寒いと感ずる気温なのに、半袖半ズボンで過ごす人がいたり、驚くことばかりでした。

その4か月間で最も印象的だったのは、オハイオ大学の野球チームの一員としてプレーしたことです。私は小学4年生から高校3年生まで野球をしていました。野球好きな人なら誰しも、アメリカで野球をすることに憧れたことがあると思います。しかし、私自身が、野球の本場と言われるアメリカでプレーをすることになることは考えてもいませんでした。オハイオ大学の交換留学の歴史の中で、スポーツチームに入った中部大学生はいなかったと聞き、とても光栄に感じています。

チームに入ることに憧れたことがあったら、私自身も、野球の本場と言われるアメリカでプレーをすることになることは考えてもいませんでした。オハイオ大学と中部大学の50年の交換留学の歴史の中で、スポーツチームに入った中部大学生はいなかったと聞き、とても光栄に感じています。

チームに入ることに憧れたことがあったら、私自身も、野球の本場と言われるアメリカでプレーをすることになることは考えてもいませんでした。オハイオ大学の交換留学の歴史の中で、スポーツチームに入った中部大学生はいなかったと聞き、とても光栄に感じています。

印象的だったのは、日本ではデッドボールの際、投手が謝罪や敬意を表すために脱帽しますが、アメリカではほとんどしなかったことです。チームメイトは、「故意に当たったのではないから、謝る必要はない」と言っていました。野球に限らず、他にもこのような違いがあり、国をまたげば、多くの価値観や文化の違いを実感しました。



オハイオ大学野球部の集合写真



Free Talk  
私にも書かせて



経営総合学科4年  
村瀬 歩見

# 私の強みは、 アイデアの原点を 創ること



33FGビジネスプランコンテスト2024で最優秀賞

中学・高校時代から、誰もが思いつきそうで思いつかない「新しいアイデアを考える」ことが得意でした。漠然と「自分の独創的なアイデアで人を笑顔にできる仕事をしたい」と思っていた私は、大学進学時に「常に新しいアイデアを社会に反映し続けられるような立場になるには、起業という道が適している」と考え、文転して経営情報学部へ進学しました。

大学入学後は、社会を知るために人材系の企業で長期インターンシップに参加しました。学生の就職支援を通して、多様な職業の存在や、社会で求められる振る舞い、営業力の大切さを実感。この経験は、今も私の思考や行動の軸となっています。

一方、大学では学部での実践的な学びや先生方からの後押しもあり、2年生頃から外部のビジネスコンテストにも積極的に挑戦するようになりました。

「第11回 Japan Business Design & Action Award」は「保護猫と働く人をつなぐ「猫のいるコワーキングスペース」というプランで東海大会準優勝を受賞。幼少期から猫と暮らしていた経験から、働く場に猫がいることでストレスが和らぎ、人間関係も柔らかなること、生産性の向上に役立とうという点に着目。保護猫を導入することで、猫も人も幸せになれる仕組みとして評価を受けました。

その延長で、第1学生駐車場を会場に、保護犬団体と連携した来場者9000人規模のイベント「わんわんカレッジフェスティバル」を主催。地域と学生、動物保護団体をつなぐ新しい形の出会いを生み出しました。

さらに、「33FGビジネスプランコンテスト2024」では、自ら常温飲料を好むことから、「常温専用の自動販売機」を提案。室内設置に特化した省スペース・省電力のもので、コロナ禍で撤去されたウォーターサーバーの代替案としても注目を集め、最優秀賞を受賞しました。実際に筐体のプロトタイプを製作し、クリニックでの検証も行ったことで、アイデアの現実味がより強く伝わったのではないかと感じています。

こうした経験を重ねる中で、私にとって本質は「起業すること」ではなく、「アイデアを生み出すこと」そのものにあると気づきました。ビジネスでは1つの案に集中することが求められますが、私は常に多くのアイデアを考え続けていたい。発想の初期段階に多く関わることで、自分の強みをより生かせる

のではと考えるようになりました。

また、自分が自然に行っているアイデアの生み出し方が、従来の方法とまったく異なることにも気づきました。義務感の先にある「アイデア」ではなく、視野が広がったり、思考や感情が揺さぶられたりすることで自然と湧き出てくる、快く楽しい体験としてのアイデア。その感覚を今、少しずつ言語化していきます。

将来は、自分の発想法をベースにしたワークショップを通じて、新規事業の立ち上げに関わり続けたいと思っています。



「わんわんカレッジフェスティバル」について報告する様子



# わがクラブ

ラグビー部

Club News No.199

## 歴史あるクラブで 楯円球を追い、 勝利を目指す

中部大学ラグビー部は1964年の大学開学と同時に創部された、数あるクラブの中でも歴史の長いクラブのひとつです。創立者の三浦幸平先生の干支である「寅」を冠した「TIGERS」として、東海学生ラグビーリーグに所属し、優勝を



目指して日々活動が続けています。

ラグビーは冬のスポーツというイメージがありますが、1年中活動しています。4月には7人制の大会があります。その後はオープン戦が続ぎ、8月には「ラグビーの聖地」長野県の菅平高原で長期合宿を敢行します。右を見ても、左を見ても、ラグーマン・ラグールしかいません(笑)。そして、リーグ戦が9月から始まります。強豪ぞろいの東海学生ラグビーリーグでいかに勝利を収めるか、ここが我々の正念場です。

さらには、驚くことなかれ、女子ラグビー部もあります。ラグビーは男子だけのスポーツではありません。楯円球を追いかけ、走り、蹴り、相手を押し込むのに、男性も女性も関係ありません。ラグビーの面白さを体験してみてください。

また、毎週月曜日には「中部大学ラグビーアカデミー」を開催しています。子どもたちにラグビーのスキルアップはもちろん

んのこと、体を動かすことから覚えてもらうという目的で実施しています。指導するのはラグビー部員です。普段はインプットしていることを、アウトプットすることで、自分たちにとっても一つ一つが勉強です。そして、ハロウィーン、クリスマスなど、それぞれのシーズンごとに楽しいイベントを企画しています。また、年末には、地元二ガ丘地区の地域清掃とともに、地域の皆さんと一緒に餅つき大会を実施しています。すっかりお腹が空いたところに、つきたてでホカホカのお餅が幸福感をもたらしてくれます。

「中部大学スポーツ宣言」には、3つの大きな基本概念、(アスリートの育成) (感動を分かち合う) (地域貢献に取組む) が記されています。ラグビー部はそのすべてを経験できます。そんなラグビー部はメイニングラウンドで活動しています。グラウンドで会いましょう!!



ラグビー部主務  
スポーツ保健医療学科4年

西尾 陸



Webサイト



Instagram



X  
(旧Twitter)



Facebook





第75回

# 私の学生時代

経営総合学科 山本雅也 准教授



## “ワタシ”を“私”に育ててくれた中部大学

「もう何日、自宅に帰っていないだろうか」とある日の深夜、装置の様子を見ながら研究に没頭していた研究室に扉をノックする音が響いた。ノックの主は大学院時代の同期、青山君と伊藤君だった。彼らもそれぞれ遅くまで研究していたが、合間を縫って

「飲みに行きませんか」と誘いに來てくれた。束の間のリフレッシュの時間を共に過ごし、その後はそれぞれ研究室に戻っていった。

そんな大学院時代のひと夜を思い出すと同時に浮かぶのは、大学に距離を感じていた学部時代の自分だ。当時、第一志望に届かず、不本意ながら工学部へ進学した私は、やる気を失い、大学に通わない時期があった。しかし、夢に向かって進む友人の姿に触れ、教職課程を履修し、他学部の学生と関わるうちに、大学の面白さを少しずつ感じるようになった。

多くの先生方が私を支えてくださった。教育のあり方を示してくれた先生、研究の世界へ導いてくれた先生、その弟子であり面倒見の良さを体現されていた先生、そして中部大学

でも高度な研究ができることを、今もなお自らの姿で示してくださっている先生方。仲間や後輩たちと過ごす時間も、自分を鍛える力となった。

大学院修了後は企業に就職し、いくつかの大学勤務を経て、教員として母校に戻ってきた。学部時代に影響を受けた友人とは今も語り合い、教職課程で出会った友人は中部大学の教員として活躍している。今も仕事や学生指導の話を交わせる刺激的な存在だ。別の友人がゲスト講師として来る予定もあり、大学院時代の友人や先輩は企業の担当者として訪れてくれるようになった。また、事務職員の方々は、学生時代の私を支えてくださったのと同じように、今も学生たちを温かく応援してくださっている。

中部大学には、学び、挑戦し、人と

つながる環境がある。研究室、図書館、学生サポートセンター、食堂など、大学にあるすべての場所と出会いを活かし、仲間と切磋琢磨<sup>せつたくま</sup>して、自分の可能性を広げていってほしい。この場所には、思いもよらぬ出会いや、人生を動かすきっかけがきつとある。



▲卒業研究合宿後の打ち上げにて。泉隆俊教授(当時)と、研究室の後輩たちとともに(後列右端が筆者)



▲研究室合同バーベキュー前、大学周辺にて(後列左から5番目が筆者)



## CAMPUS NEWS

## 2025年度入学式

4月1日、学部生2,828人、3年次編入学生9人の計2,837人と大学院修士・博士前期課程152人、博士後期課程18人の計170人を迎えて、2025年度入学式が講堂(体育館)で行われた。式典への参加は新入生のみとし、2部制で行われ、付添者は不言実行館ACTIVE PLAZAや10号館に設けられたサテライト会場でライブ配信を視聴した。代表宣誓者は、中村勇貴さん(環境生物科学科)、井波優衣さん(保健看護学科)。



## 2024年度学位記授与式

3月22日、講堂(体育館)で学位記授与式が行われ、学部生2,322人、大学院生157人に学位記が授与された。2部制で行われ、式典への参加は卒業生・修了生に限定し、付添者は不言実行館ACTIVE PLAZAや10号館に設けられたサテライト会場でライブ配信を視聴した。代表謝辞は、小林玲王さん(心理学科)、厚味流奈さん(情報工学科)。





## クラブ紹介イベント 春一祭

4月2日午後、クラブ運営委員会と中部大学祭実行委員会主催の春一祭が開催され、各クラブが新入生に向け10号館前特設ステージで活動紹介をした。その他ポスター企画や各クラブの相談ブースも設けたほか、勧誘のピラ配りも行われた。



## 100円朝食

4月7日～5月16日の授業日に、湯浅系道ホール(第1学生ホール)で学生の食習慣の改善や生活習慣の形成、物価高騰に対する経済支援を目的として100円で朝食が提供された。学生らは和定食とカレーライスの日替わり、またはパンセットから選んでいた。



## ちゅとらバスの運行が開始

4月から本学の併設校である中部大学第一高等学校、中部大学春日丘高等学校、中部大学春日丘中学校のスクールバスとして、ちゅとらのラッピングバスが運行を開始した。JR神領駅と春日井キャンパス間を臨時便として走ることもあり、定期乗車券を持っている方は乗車が可能。



## 名誉教授の称号授与

4月23日、名誉教授の称号授与式が行われた。授与されたのは、龍岡亮二前教授(経営情報学部)、永田典子前教授(人文学部)、三浦陽一前教授(人文学部)、牛田一成前教授(応用生物学部)、山本敦前教授(応用生物学部)、蒲生晴明前教授(人間力創成教育院)の6人。また、2024年7月18日付で多賀康訓前教授(総合工学研究所)、2024年10月1日付で山本尚前教授(先端研究センター)、2024年12月25日付で岩堀祐之前教授(工学部)の3人が授与された。



## ネーミングライツ事業

### 5つの施設に5社と契約を締結

4月1日、株式会社マジオDS東海(春日井市)、株式会社ILホールディングス(一宮市)、北斗株式会社(小牧市)、日本空調サービス株式会社(名古屋市名東区)、愛知電機株式会社(春日井市)の5社とそれぞれネーミングライツ事業実施契約を締結した。3年間5つの施設にそれぞれの愛称が使用される。

マジオスクエア  
(51号館学生ホール)



IL Group  
Career Hub  
A・B・C  
(クリエイティブ・ラボ  
A・B・C)



HOKUTO  
FACTORY  
INNOVATOR  
LAB  
(工学デザインルーム)



日空オアシス  
(9号館2階  
学生ラウンジOasis)



愛知電機  
Student Lounge.  
(キャンパスプラザ1階  
学生ラウンジ)





## 地域創成メディエーター学生発表会 「プラス・エクспレッション」

2月20日午後、第11回地域創成メディエーター学生発表会「プラス・エクспレッション」が開催され、プレゼンテーション発表が不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで、ポスター発表が同2階の学生・コモンズで行われた。今回はプレゼンテーション発表3人、ポスター発表28人の合わせて31人と3月11日に行ったポスター発表5人を合わせて36人が地域創成メディエーターの認定を受けた。



## 中部大学ボランティア・NPOセンター 活動報告会

3月11日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階のアクティブホールで、中部大学ボランティア・NPOセンター活動報告会が開催された。5つのプロジェクトの年間活動報告と来年度のプロジェクトリーダーおよび活動予定が発表された。



## 2024年度第49回冬季課外教育活動 「スキー・スノーボードキャンプ」

2月11～14日、2024年度第49回冬季課外教育活動が北志賀高原竜王スキーパークで開催された。4日間を通してスキーやスノーボード講習が行われ、学生31人が参加した。



## 本学と福井県が就職支援に関する協定を締結

1月31日午前、本学と福井県による、学生のUターン就職の支援を目的に、就職支援に関する連携協定の締結式が2号館2階中会議室で行われた。福井県から福井県名古屋事務所遠藤修子所長、本学から花井忠征副学長らが出席した。



## 本学と豊田市が多角連携に関する協定を締結

2月6日午後、本学と豊田市による、相互の資源を有効活用し、地域社会の発展、次代を担う人材の育成および学術研究の振興に寄与することを目的とした連携協定の締結式が、2号館2階中会議室で行われた。豊田市から太田稔彦市長、本学から竹内芳美学長らが出席した。



## 東海農政局と中部大学との 連携に関する包括協定を締結

3月13日午後、本学と農林水産省東海農政局との包括的連携協定の締結式が2号館2階中会議室で行われた。東海農政局から秋葉一彦局長、本学から竹内芳美学長らが出席した。締結式に引き続き、食品栄養科学科の学生による記念発表会を実施した。



## 学内業界セミナー

2月5・6・10～13日の6日間、学内業界セミナーが開催された。2月5・6日はオンラインで、10～13日は対面で湯浅糸道ホール(第1学生ホール)を会場に行われた。482社の企業が出展し、学生延べ2,034人が参加した。





## 留学フェア

4月9・16日、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで春の留学フェアが開催され、留学希望学生72人と留学経験者の学生60人、留学生7人が参加した。



## 2024年度夢・チャレンジ「ちゅとラボ」最終報告会

2月19日、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで夢・チャレンジ「ちゅとラボ」最終報告会が開催された。チャレンジコースの6団体、スタートアップコースから1団体がこの1年の活動の成果を発表した。



## 2025年度中部大学次世代研究者挑戦的研究プログラム採用式

4月10日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA5階IL Group Career Hub Cで2025年度中部大学次世代研究者挑戦的研究プログラム採用式が行われた。採用されたのは博士後期課程の杉山侑姫さん(国際人間学研究科言語文化専攻)、松岡一輝さん(工学研究科電気電子工学専攻)、杉山大騎さん(応用生物学研究科応用生物学専攻)、小柳宏華さん(生命健康科学研究科生命医科学専攻)。



## 新1年生の森2025

学生サポーター主催の新1年生の森が、4月30日と5月7日の午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで開催され、学生21人と学生サポーター18人延べ39人が参加した。施設紹介やレクリエーションを実施し、他学科の学生と交流を深めた。



## 食品栄養科学科×経営総合学科 まるや本店中部国際空港店との コラボ御膳を考案・販売

2月17日～5月31日、食品栄養科学科管理栄養科学専攻の香西はな研究室と経営総合学科の清水真研究室の学生が考案した中部国際空港開港20周年記念メニューが、まるや本店中部国際空港店で販売された。知多半島の食材を生かした春限定ひつまぶし御膳が提供された。



## 被災地支援活動

2月17～19日、中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が東日本大震災の被災地を訪問しボランティア活動を行った。宮城県石巻市震災遺構大川小学校や気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館などの視察、気仙沼との協定に基づいた気仙沼市防災物資集積配送基地の清掃活動も行った。2011年9月の初訪問から14年目、24回目の訪問となった。



## 能登半島ボランティア活動

3月17～19日、中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が能登半島地震の被災地である石川県輪島市深見町を訪問した。石川県の事業である「いしかわサテライトキャンパス推進事業」を利用しボランティア活動を行った。



## 2024年度学生サポートセンター インターンシップ修了式・活動報告会

2月25日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで2024年度学生サポートセンターインターンシップ修了式・活動報告会が開催された。2024年度は26人が修了し、うち12人が不言実行館賞を受賞。家泰弘不言実行館長より修了証書が授与された。





## 小出望未さん、山田翔太さん、井端日菜さんが 「第1回みどり戦略学生チャレンジ 東海ブロック大会」でチャレンジ賞を受賞

小出望未さん(食品栄養学科食品栄養科学専攻4年)、山田翔太さん(同)、井端日菜さん(同)が3月3日にAP名古屋で開催された「第1回みどり戦略学生チャレンジ 東海ブロック大会」でチャレンジ賞を受賞。受賞したテーマは「プラン入り小麦粉の用途開発 ～小麦農家の想いをパン職人へ繋ぐ～」。



左から小出さん、山田さん、井端さん

## 落合健太さんが STATION AiのSTAPS最終ピッチ大会で 優秀賞および愛知県賞を受賞

落合健太さん(日本語日本文化学科1年)が3月16日にSTATION Ai(名古屋市中)で開催されたSTAPS最終ピッチ大会で優秀賞および愛知県賞を受賞した。発表タイトルは「Seed Partner 学生が夢を諦めない社会を作ります」。

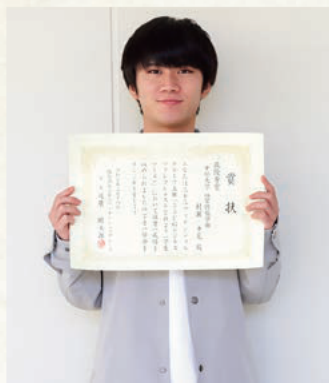
※STAPSとはSTATION Aiが提供する学生起業家育成プログラム



写真左から2番目が落合さん

## 33FGビジネスプランコンテスト2024で 村瀬歩見さんと八木夏音さんが受賞

村瀬歩見さん(経営総合学科3年、趙偉研究室)と八木夏音さん(同2年)が、三十三フィナンシャルグループが主催する33FGビジネスプランコンテスト2024学生コースで、村瀬さんが最優秀賞、八木さんが優秀賞を受賞した。



村瀬さん



八木さん

## 地域貢献活動優秀者認定証の交付式

4月16日午後、春日井市役所で地域貢献活動優秀者認定証交付式が行われた。地域連携住居に入居し、特に顕著な地域貢献活動の実績を有する学生に対して、春日井市長より高蔵寺ニュータウンの活性化推進に寄与したことが認定された。授与されたのは、内山稜太さん(機械工学科3年)、安本結衣さん(応用生物化学科3年)、佐々木桃花さん(食品栄養学科管理栄養科学専攻3年)、横田慶さん(食品栄養学科管理栄養科学専攻3年)、山本佑さん(スポーツ保健医療学科3年)。



左から永富恵三UR都市機構中部支社住宅経営部長、佐々木さん、横田さん、内山さん、石黒直樹春日井市長、安本さん、山本さん、梅崎周毅学生部長

## 学校法人中部大学 硬式野球部学園統一ユニフォーム発表会

3月25日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで学校法人中部大学 硬式野球部学園統一ユニフォーム発表会が行われた。2022年4月に「中部大学スポーツ宣言 CHUBU DECLARATION ON SPORTS」を策定し、スポーツブランディングの一環として、中部大学、中部大学第一高校、中部大学春日丘高校は学園統一ユニフォームを導入した。



## グラウンドクラブハウスを新設

メイングラウンド東側にグラウンドクラブハウスが新設され、1階に多目的室、2階に部室が4室設置された。



## スプリングコンサート

4月16日午後、キャンパスプラザ1階愛知電機Student Lounge.で2025年度スプリングコンサートが開催され、混声合唱団、管弦楽団、マンドリンクラブ、軽音楽部、シンフォニックバンドが出演した。





## かすがいビジプレ2024で4チームが受賞

3月1日にネクシティパレット(春日井市)で開催された、かすがいビジプレ2024実行委員会が主催するかすがいビジプレ2024で、経営総合学科から出場した4チームが受賞した。

### チーム名:タイムワーカー

八木夏音さん(経営総合学科2年)



最優秀賞



### チーム名:AgeLink

丹羽美月さん(経営総合学科3年、清水真研究室)、村松優さん(同)、松本笑佳さん(同)



優秀賞



左から丹羽さん、松本さん、  
村松さん

### チーム名:Freease

中川萌々華さん(経営総合学科3年、趙偉研究室)、川本功太さん(同2年)、八木夏音さん(同)



敢闘賞



左から八木さん、中川さん、  
川本さん

### チーム名:シンボーイスカウト

下田菜月さん(経営総合学科3年、清水真研究室)



ホンダロジコム賞



## 第11回 東海Business Design & Action Award 2024-2025で3チームが受賞

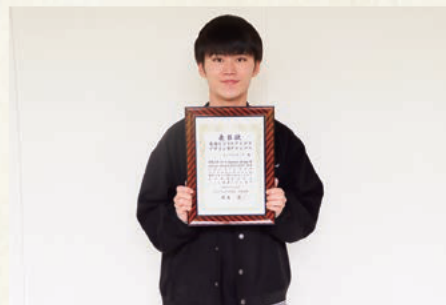
1月26日に安保ホール(名古屋市)で開催された一般社団法人ビジネス・アクション・クラブ主催の第11回 東海Business Design & Action Award 2024-2025で、経営総合学科から出場した3チームが受賞した。

### チーム名:チームあゆみ

村瀬歩見さん(経営総合学科3年、趙偉研究室)



未来ビジネス賞



### チーム名:AgeLink

丹羽美月さん(経営総合学科3年、清水真研究室)、村松優さん(同)、松本笑佳さん(同)



地方創生賞



左から村松さん、丹羽さん、  
松本さん

### チーム名:Sunny

太田愛菜さん(経営総合学科3年、清水真研究室)、豊島澄玲さん(同)、森穂ノ香さん(同)



SDGs賞



左から森さん、豊島さん、  
太田さん



### デザイン経営 —各国に学ぶ企業価値を高める戦略— (中公新書)

著者 小山太郎講師  
(人間力創成教育院教養課題教育  
プログラム(人文・リテラシー))  
発行 中央公論新社 2025年3月24日  
定価 1,000円+税



### マーケティング

共著者 清水真教授(経営総合学科)  
発行 五紘舎 2024年10月15日  
定価 2,300円+税

### 新刊紹介



## 食品栄養科学科

こいけ あつこ

## 小池 温子 助教

①東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻博士後期課程修了 ②博士(学術)(東京大学) ③応用栄養学、スポーツ栄養学、運動生理・生化学 ④東京家政大学家政学部栄養学科助手 ⑤ランニング、野球観戦、ドラマ観賞

## 作業療法実習センター 作業療法学科

とも の まや

## 伴野 麻矢 講師

①国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻博士課程修了 ②博士(保健医療学)(国際医療福祉大学大学院) ③高次脳機能障害、身体障害評価学、身体障害治療学、障害者就労支援、高齢者シーティング ④日本リハビリテーション専門学校作業療法学科昼間部教務専任教員 ⑤料理、ドライブ、映画鑑賞

## 教職課程センター

こだま ひろゆき

## 児玉 洋行 特任教授

①愛知教育大学教育学部小学校教員養成課程理科化学科卒業 ②学士(教育学)(愛知教育大学) ③教科教育(理科教育) ④岡崎市立竜海中学校長 ⑤旅行、映画鑑賞

## 教職課程センター

ながえ ひろこ

## 長江 弘子 特任講師

①市邨学園短期大学保育科卒業 ③保育 ④春日井市役所保育課主幹 ⑤ドライブ、ゴルフ

## 新任の教員を紹介します。

①最終学歴 ②学位 ③専門分野 ④前職 ⑤趣味

## 都市建設工学科

なみまつ さき

## 並松 沙樹 講師

①東京工業大学大学院環境・社会理工学修士・環境工学系土木工学コース博士後期課程修了 ②博士(工学)(東京工業大学)、修士(技術経営)(東京工業大学) ③コンクリート工学、維持管理工学、インフラマネジメント、国土政策学、建設政治学 ④東海旅客鉄道㈱ ⑤橋を見ること、鉄道・飛行機、運動

## 建築学科

い ない えいいち

## 稲井 栄一 特任教授

①早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻博士前期課程修了 ②博士(工学)(早稲田大学) ③建築構造・地震工学 ④山口大学大学院教授 ⑤ウォーキング、読書、旅行

## 応用生物学部

あんどう さゆり

## 安藤 沙友里 助手

①中部大学大学院応用生物科学研究科応用生物学専攻博士後期課程修了 ②博士(応用生物学)(中部大学) ③植物分子生物学 ④中部大学非常勤講師 ⑤山登り、写真

## Random Shot

第200回

## 業務の正確さと協力を大切に



教務支援課

永村 光一 さん

趣味は映画鑑賞や読書、ラジオを聴くこと。家族や友人と旅行に出かけることも楽しんでおり、最近では家族と近所の美術館に足を運び、友人と京都を訪れた。

## 大学での学びを生かして

「前職で大学を訪れる機会が多く、研究室を訪問することがほとんどでした。その際に先生と学生が和気あいあいとした雰囲気でお話する場面をよく目にし、学生と共に過ごす場所で働くことに興味を持ったのが入職のきっかけです。また、学生や先生、地域の方などさまざまな立場の人が集い楽しく学べる環境作りに関わる仕事に魅力を感じた。学生時代に研究室やサークルで培った「他者と協力する姿勢」は、現在の仕事にも役立っている。「協力して仕事をするためには、他者に敬意を払うことが重要です」と語る。

学生の皆さんへ「大学には、さまざまな授業を受講できる素晴らしい環境があります。ぜひ興味の赴くままに履修してみてください。学びは社会人でも続きます。大学で興味関心のあることを見つけ、主体的に行動してみてください。また授業だけでなく先生や友人とのつながりは一生の宝になるので大切にしてください」とメッセージを送る。





## 富山市ファミリーパーク 飼育員

青山 三菜さん

2020(令和2)年度環境生物科学科卒業

# 命を守り、伝える仕事

「子どもの頃から動物が好きで、動物と関わる仕事に就きたいと思っていました」と語るのは、本学環境生物科学科卒業生の青山三菜さん。数ある動物関連の仕事の中でも、日本の野生動物に関心を持ち、富山市ファミリーパークを志した。富山市ファミリーパークでは、ライチョウやニホンカモシカ、オオワシなど日本の野生動物の飼育・展示に力を入れており、自然の中で生きる姿を伝えられることに魅力を感じたという。

取材時(3月24日)はペンギンやインコ、熱帯の鳥類などの飼育を担当。獣舎の清掃、エサの準備、健康管理に加え、来園者への解説も行っている。イベントやガイドでは、写真や動画、標本を使って動物について紹介します。来園者が興味を持ってくれと、とてもやりがいを感じます」と話す。また、動物の繁殖に関わることも大きな喜びで、「エサの内容や量、環境の整備まで細かく気を配っています。繁殖が成功したときの達成感は格別です」と笑顔を見せる。

### 動物と共に進む道

仕事で最も大切にしているのは、動

物の健康を守るための細やかな観察。「食欲や行動、糞の状態を毎日チェックし、異変がないかを確認するのが基本です」と語る。また、来園者に動物本来の生態を分かってもらえるよう、獣舎のレイアウトや解説ボードの内容にも工夫を凝らしている。

一方で、動物園での仕事は体力面など大変なことも多い。特に、動物の世話以外にやりたいことがあっても限られた時間内に優先順位をつけて仕事を進めなければならない点は、悩むこともあるという。「時間の使い方や効率的な作業の進め方を常に考えるようになりました」と話す。

### 学生時代の探究が生きる現場へ

本学の環境生物科学科では、生態系や動物の行動を深く学んだ。また、在学中はオハイオ大学での長期研修に参加し、異文化の中で学ぶ経験を得たり、サークル活動では潜水土やダイビングライセンスを取得し、海洋生物にも関心を広げたりした。卒業研究ではムササビの腸内細菌をテーマに研究し、エサと消化器官の関係性について考えるようになった。「今の仕事でも給餌管理

を行う際に役立っています」と振り返る。動物の種類や年齢、健康状態に応じてエサの内容と量を調整し、栄養バランスを考えながら調整する。些細な変化に気づけるかどうか、命を守ることにつながるため、日々の積み重ねが欠かせない。

今後は、日本の動物や自然環境について、より多くの人に知ってもらうことを目標に「SNSを活用した情報発信や、新たな動物の飼育にも挑戦したいです」と意気込む。「特に、タヌキやキツネ、アナグマなどの日本産動物の飼育に関わってみたいです。日本の野生動物の魅力をより多くの人に伝えていければと思います」と語る。

### 学びと経験が未来を築く

後輩となる学生の皆さんへ「将来の選択に迷ったときは、先輩や周囲の人に相談するといいと思います。さまざまな意見を参考にしながら、自分の進む道を見つけてほしいです。また、学生時代には、興味のあることにどんどん挑戦してください。大学での学びや経験が、社会に出たときの財産になります」とメッセージを送る。





# う ら 話

## 2025年度入学式



▲ サテライト会場



▲ 不言実行館ACTIVE PLAZAエントランスに設置された  
フォトパネルで記念撮影



▲ 講堂(体育館)から  
オリエンテーション会場に向かう新入生



入学生代表宣誓 ▶

4月1日、桜が咲き誇るキャンパスに2,800人を超える新入生が迎えられました。新入生を温かく迎えたのは、キャンパスの桜だけでなく、在学生や教職員、そして中部大学のマスコット「ちゅとら」も一緒に新入生を歓迎しました。メインストリートでは、クラブの学生たちが沿道を固め、新入生が通る「花道」を作り、ピラ配りやクラブ勧誘を行い、熱い歓迎の気持ちが伝わりました。入学式は講堂(体育館)で、新入生のみが参加する2部制で開催され、付添者向けには不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールと10号館の講義室をサテライト会場とし、ライブ配信も行われました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。素晴らしい先輩や先生方、親切な職員と共に、充実した学生生活を送ってください。

## 編集 後記

新緑が美しい季節となりました。新入生の皆さん、大学では授業やクラブ活動、友人との出会いを通して、多くの学びや成長があるはずです。これからの大学生活が皆さんにとって実りある時間となることを願っています。今年度も『ウプト』をどうぞよろしくお願いいたします。

### 【訂正とお詫び】

前号232号の学生編集委員のページ「全国各地から来ている中部大生を調査」の掲載内容に誤りがありました。「工藤陽輝さん」ではなく、正しくは「工藤陽暉さん」です。お詫びして訂正いたします。

### 中部大学通信 ウプト No.233

発行日/2025年5月31日  
発行/中部大学ウプト編集委員会  
編集/入試・広報部 制作課  
〒487-8501春日井市松本町1200  
<https://www.chubu.ac.jp/>  
Tel:0568-51-4465(制作課直通)  
E-mail:info-seisaku@fsc.chubu.ac.jp